

受賞技術	摩擦ダンパーを用いた橋梁の損傷制御耐震補強工法
技術開発者	牛島 栄



受賞にあたって

栄誉ある第23回国土技術開発賞「入賞」の受賞を賜り、技術開発者の一人として大変光栄です。2014年度に始まった首都高速道路(株)の耐震性向上の共研の公募と採用から技術開発が開始されました。開発に際しては、共同開発者である波田氏が述べたような多くの試行錯誤を繰り返し、首都高速道路(株)蔵治様や和田様、松原様はじめ多くの方々のご指導により、摩擦ダンパーの特性をどのように首都高速道路の構造物に適用するか目的と仕様のターゲットを決め、特許取得やNETIS登録も行い、大型振動台実験をはじめ多くの試験を行って開発致しました。お陰様で、首都高速11号台場線のロッキング橋脚の補強工事として初めて実装されました。技術開発はチームワークであることを痛感致しております。最後に、本開発に携わった多くの関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。

受賞後の動き

この摩擦ダンパーは固定支承部の橋軸直角方向に適用する損傷制御耐震補強工法として開発しましたが、可動支承部にも適用すべく新たな改良を加えたダンパーの開発も実施しております。本技術の普及に努めるとともに、適用範囲の拡大を通して、弊社も国土強靱化への社会貢献を果たすべく社をあげて尽力致したく存じます。今後とも多くの皆様のご支援を頂きたく切望致します。